

闘うメーデーの復権を！

5・1

午後日比谷へ！

5月1日メーデー。その当日、新天皇の即位が行われる。われわれは労働者階級をなめきった政府・支配階級のメーデーつぶし攻撃に抗して改憲と戦争国家に向かう安倍政権打倒に向けて闘い抜く。

全国の仲間たち、今こそ労働者階級の社会的な力！ストライキ・職場放棄・デモで闘おう。闘うメーデーの復権をめざし、午後、日比谷へ結集しよう。

主権者意識を奪い、奴隷根性を

植え付ける天皇制と闘おう

天皇の代替わりを前にして、テレビ・新聞などマスコミは連日こぞって「天皇・皇室賛美」のキャンペーンを張り巡らせている。「国民の幸福を祈り、犠牲者・被災者に寄り添う天皇像」が演出され、天皇（制）に異議を唱え批判する者は許されないと社会的雰囲気を作り出している。政権の御用報道機関NHKは、天皇の伊勢神宮参拝に関して「皇室の祖先の『天照大神』をまつる伊勢神宮」と報道し、天皇が「神の子孫」であるとのデマを

と吹聴している。

「神の子孫」生まれながらにして尊い存在」として天皇を受け入れていくことこそ、天皇への隷属意識（奴隷根性）であり、主権者としての意識を解体させるものだ。天皇制（君主制）との日常的なそとして意識的な闘いぬきに、人民主権、自由、平等、労働者階級の団結と権利確立を実現することはできない。

非正規労働者差別を撤廃し

労働権・生存権を闘い取ろう

歴代自民党政権の相次ぐ労働法制改悪によって派遣・契約・パート・アルバイトなど非正規労働者は増え続け、今や2120万人、全労働者の4割を占めるに至っている。

非正規労働者は不安定かつ低劣な労働条件下において酷使されている。安倍政権は「天皇の退位と即位を祝う」として4月27日からの10連休を決めたが、時給・日給で働く非正規労働者にとっては10日間の首切りだ。

政府・独占資本は非正規労働者を重しとして、今や正規労働者の賃金・労働条件の引き下げに

改憲・天皇即位反対！非正規差別撤廃！

ストライキ、職場放棄、デモで闘おう！

- ★5月1日 午後1時 15分 日比谷図書館4F スタジオプラス
- ★記念講演 「女性と労働者と天皇制を考える」

講師・鈴木裕子さん（女性史・社会運動史研究家）

- ★参加者・団体からのアピール 午後3時20分デモ出発
- ★資料代…500円
- ★主催…2019反天皇制メーデー労働者行動